

ニュース JAFIC EYE No.152

6月のマイワシとさば類の漁況について

1. 太平洋側のマイワシについて

○根室市花咲港：さけます代替棒受網漁業の漁場は、花咲南 20～30 マイルで漁場水温は 10℃前後であった。6 月の水揚量は 5 月を上回ったものの、前年を下回った(前年比 59%) (表 1)。体長は 18cm 前後主体で 20cm 前後も見られた(図 1)。体重は 70～80g 主体で 100g 以上も見られた(図 2)。前年よりも水揚量が少ないにもかかわらず、価格が安かった。

表 1 花咲港における 5、6 月のマイワシの水揚量(トン)

	2019年		2020年		前年比	
	数量	価格	数量	価格	数量	価格
5月	27.7	168.0	51.6	35.0	1.86	0.21
6月	1,925.3	55.0	1,143.2	36.0	0.59	0.65

(以降水揚量出典:おさかなひろば)

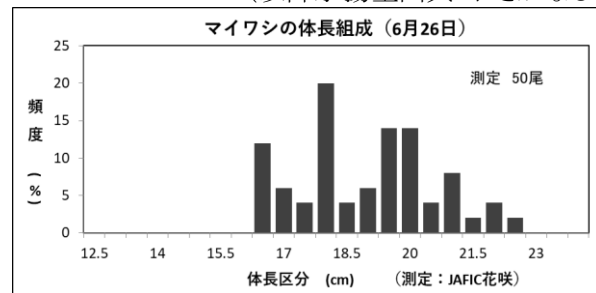


図 1 6 月 26 日花咲港水揚のマイワシ体長組成

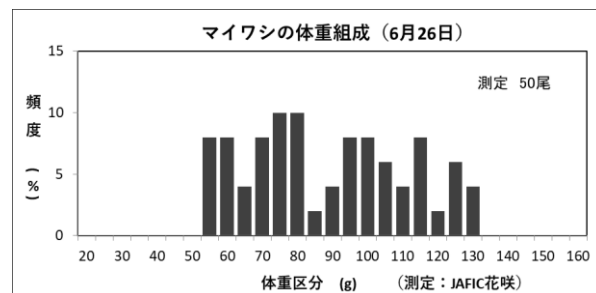


図 2 6 月 26 日花咲港水揚のマイワシ体重組成

○釧路港：道東まき網は 6 月 25 日から開始し(前年と同日)、6 月 25～30 日で 2925トン水揚し、1 網当たり平均 76トンであった。出漁統数は前年よりも多く、水揚量は前年を上回ったが、1 操業当たり平均は前年を下回った(前年漁獲量 2,485トン、1 網当たり 207トン)。漁場は釧路沖で漁場水温は 12.9～16.4℃であった。

○石巻港：6 月の水揚量は 5 月を上回るとともに、前年を上回った(前年比 160%) (表 2)。まき網漁場が金華山沖に形成された。魚体は体長 15cm、体重 45g モードのものであり、道東沖よりも小さかった。(図 3、4)。

表 2 石巻港における 5、6 月のマイワシの水揚量(トン)

	2019年		2020年		前年比	
	数量	価格	数量	価格	数量	価格
5月	4,456.6	24.0	2,141.1	31.0	0.48	1.29
6月	4,149.0	40.0	6,642.5	35.0	1.60	0.88

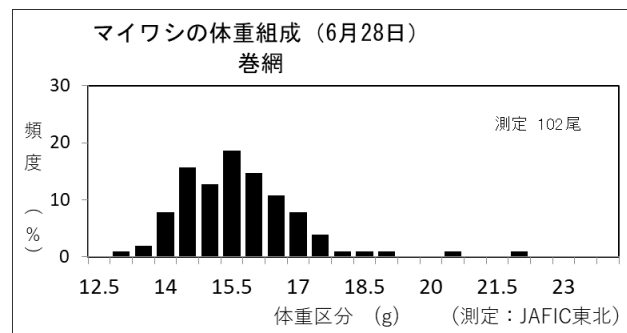


図 3 6 月 28 日石巻港水揚のマイワシ体長組成

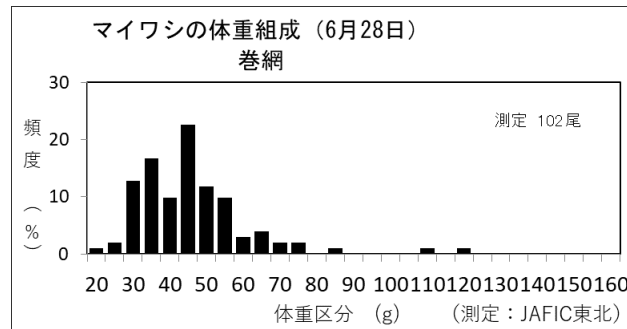


図 4 6 月 28 日石巻港水揚のマイワシ体重組成

○銚子港：6 月の水揚量は 5 月を下回るとともに、前年を下回る(前年比 55%) (表 3)。漁場は銚子沖～鹿島沖に形成された。漁場水温は 17～20℃であった。体長は 15.5cm、体重は 45g モードのものであった(図 5、6)。金華山沖と同程度のサイズだが、さらに小さいサイズも混じった。

表 3 銚子港における 5、6 月のマイワシ水揚量(トン)

	2019年		2020年		前年比	
	数量	価格	数量	価格	数量	価格
5月	33,165.5	33.0	33,159.7	38.0	1.00	1.15
6月	26,303.2	54.0	14,537.3	69.0	0.55	1.28

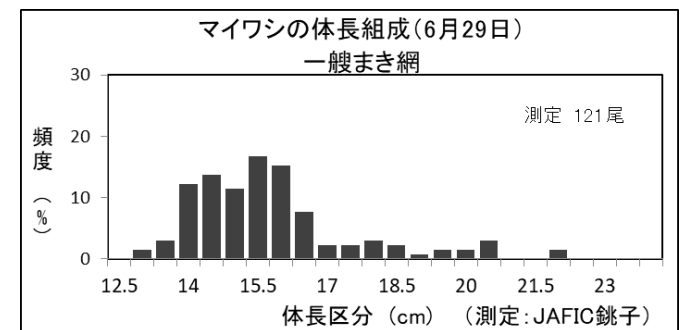


図 5 6 月 29 日銚子港水揚のマイワシ体長組成

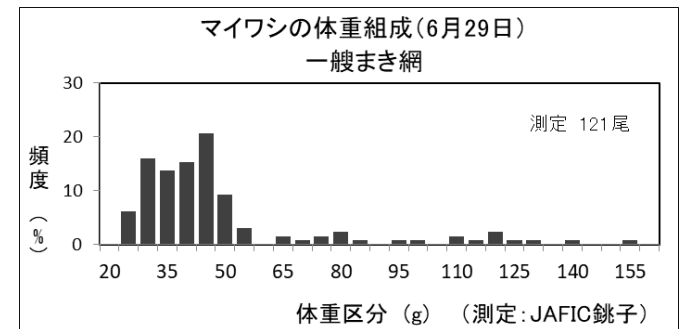


図 6 6 月 29 日銚子港水揚のマイワシ体重組成

2. 日本海側のマイワシについて

○境港：6月の水揚量は5月を下回り、前年を上回った(前年比 2.69 倍)(表 4)。漁場は隠岐海峡周辺、浜田港沖であった。4、5月に引き続き好調で、マイワシに加えてカタクチイワシも好調であった。魚体については、6月上旬は体長 20cm 前後、体重 100g 前後が主体であったが(図 7、8)、中下旬は体長 10cm 前後、体重 10g 前後が主体となった(図 9、10)。単価は5月を下回った。

表 4 境港における5、6月のマイワシの水揚量(トン)

	2019年		2020年		前年比	
	数量	価格	数量	価格	数量	価格
5月	75.0	84.0	3,857.0	52.0	51.43	0.62
6月	1,010.0	40.0	2,712.0	44.0	2.69	1.10

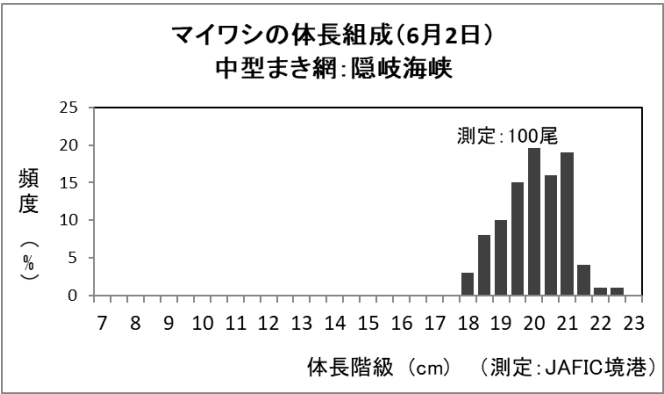


図 7 6月2日境港水揚のマイワシ体長組成

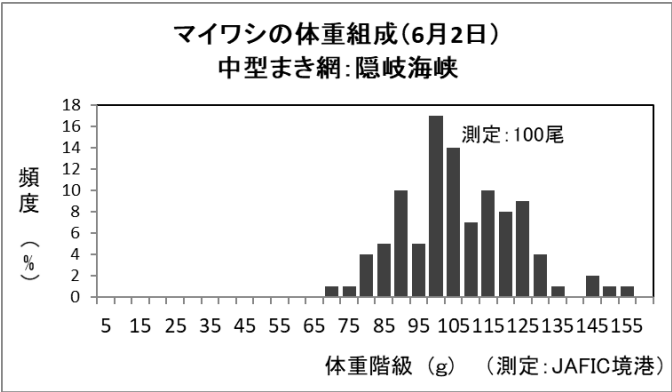


図 8 6月2日境港水揚のマイワシ体重組成

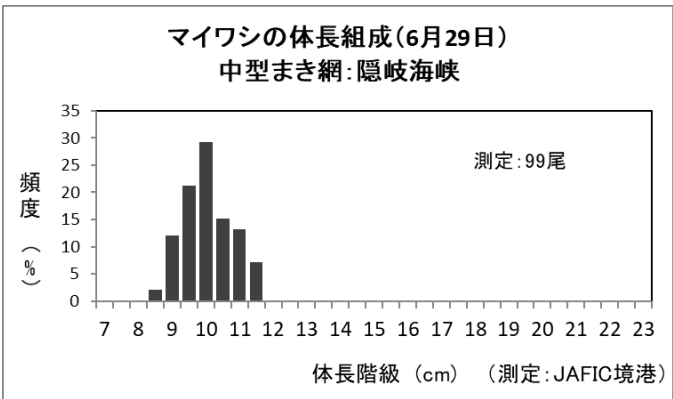


図 9 6月29日境港水揚のマイワシ体長組成

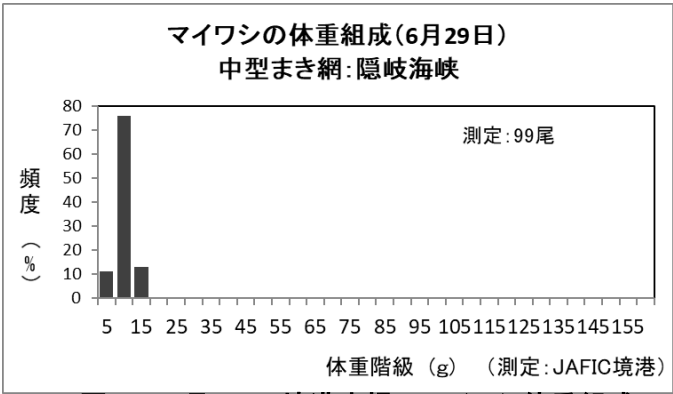


図 10 6月29日境港水揚のマイワシ体重組成

3.太平洋側のさば類について

○石巻港：6月の水揚量は5月を下回り、前年を上回った(前年比 111%)(表 5)。まき網での水揚はなく、定置網と底曳網での水揚が主体だった。体長(尾叉長)は22cm 前後主体で5月に水揚げされていた 30cm 以上のサイズは少なくなった(図 11)。

表 5 石巻港におけるさば類の水揚量

	2019年		2020年		前年比	
	数量	価格	数量	価格	数量	価格
5月	9,832.4	71.0	4,183.3	91.0	0.43	1.28
6月	3,753.6	54.0	4,155.0	72.0	1.11	1.33

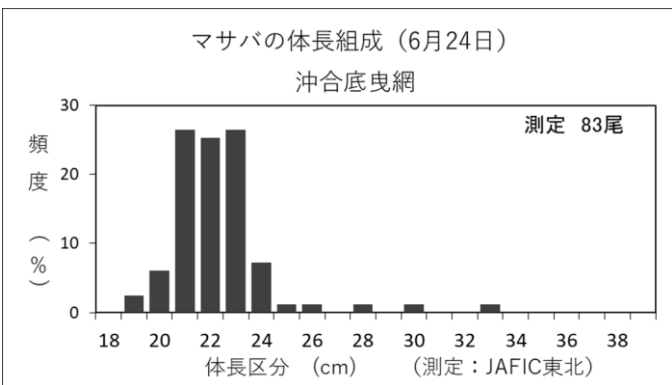


図 11 6月24日石巻港水揚のマサバ体長組成

○銚子港：6月の水揚量は5月を下回ったものの、前年を上回った(前年比 5.24 倍)(表 6)。銚子沖で一艘まき網、二艘まき網が水揚げした。石巻同様に 30cm 以上の個体が少なくなり、体長は 27cm 以上主体で体重は 220g モードのものであった(図 12、13)。

表 6 銚子港におけるさば類の水揚量

	2019年		2020年		前年比	
	数量	価格	数量	価格	数量	価格
5月	2,369.6	75.0	2,591.6	91.0	1.09	1.21
6月	181.3	87.0	950.9	96.0	5.24	1.10

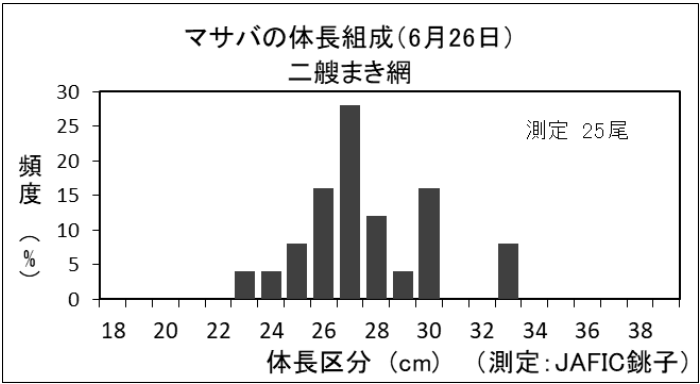


図 12 6月26日銚子港水揚のマサバ体長組成

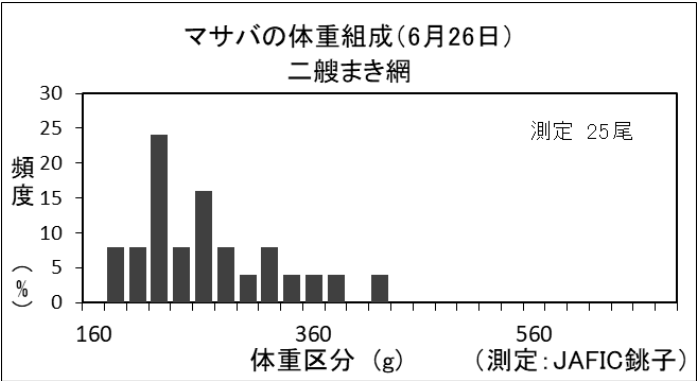


図 13 6 月 26 日 銚子水揚のマサバ体重組成

4.日本海および東シナ海側のマサバについて

松浦港：6 月のマサバの水揚量は 5 月を下回り、前年を上回った（前年比 4.58 倍）（表 9）。5 月は東シナ海南部主体の操業であったが、6 月は対馬海域北部主体の操業で東シナ南部でも操業がみられた。マサバの体長は 30cm 前後モードで、体重は 360g モードであり、前年に見られた 34cm 前後や 20cm 前後のサイズは見られなかった。単価は 5 月、6 月ともに昨年より安かった。

表 9 松浦港におけるマサバの水揚量

	2019年		2020年		前年比	
	数量	価格	数量	価格	数量	価格
5月	1,357.7	111.0	1,807.0	96.0	1.33	0.86
6月	281.9	153.0	1,291.8	95.0	4.58	0.62

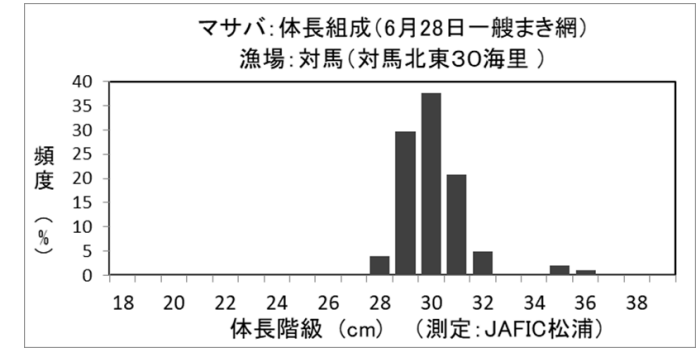


図 14 6 月 28 日 松浦港水揚のマサバ体長組成

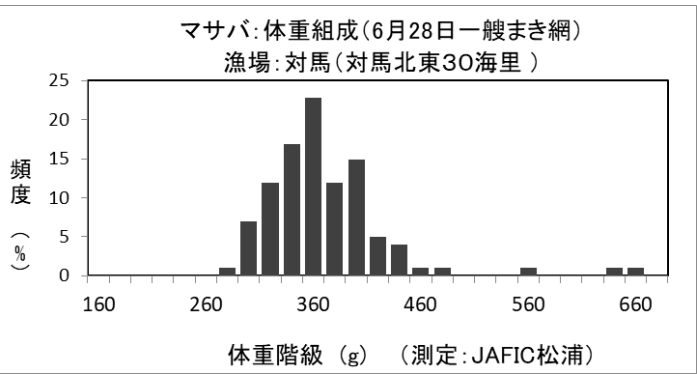


図 15 6 月 28 日 松浦港水揚のマサバ体重組成

5.まとめ

太平洋側のマイワシは花咲沖操業のさけます代替棒受網漁業では体長 20cm 以上の 3 歳魚が見られ、金華山沖、銚子沖のまき網では 14～17cm の 1、2 歳魚が見られた。これらのことから、3 歳魚は道東沖まで北上し、2 歳魚はいまだ北上中であると考えられる。

太平洋側のさば類は東北海域における定置網や底曳網、銚子沖の一艘まき網、二艘まき網で水揚があった。5 月下旬に見られた体長 30cm 以上のサイズではなく、22～25cm 前後が主体となり、ゴマサバが混じった。道東沖ではいまだみられていないため、今後漁場が形成されることを期待したい。

中西部日本海においては、5 月から引き続きマイワシとカタクチイワシの漁獲が好調に推移している。マアジも水揚げされたが、前年を下回っていた。

対馬海域を中心にマサバ、マアジが漁獲され、マサバ、マアジともに水揚量は前年を上回った。

（水産情報部）